

リレートーク【1】

ポリテクセンター福井 大谷 泰生

SNOW BOARD

酒豪かつ元某大学でワンダーフォーゲル部に所属をし、背も高いが態度もでかい、実は結構二枚目の総合大学で経理（本部棟1階ですので一度お立ち寄り）を担当している重谷（しげたに）さんから紹介をいただきましたポリテクセンター福井に勤務しております大谷泰生（おたにやすお）です。以後よろしく願いいたします。

さて、重谷さんにはポリテクセンター静岡で大変お世話になり、わかまな先輩のことをよくサポートしてくれたことを、この場を借りて感謝の意を表します。「ほんとうにありがとうございました」。

こんな後輩からのリレートークですので断るわけもいかず文章は苦手ながらも挑戦しております。

現在勤務しておりますポリテクセンター福井は、福井県武生市（菊人形で結構有名な所）にあります。冬季は、雪が降り、近郊にもゲレンデが多くあります。そんなことで近年（三十の手習い）始めたスノーボードについて少しトークしちゃうかな…。

現在、岐阜短大に勤務しているお茶目な講師に誘われて始めたスノーボードですが、これがよくあるパターンで、スキーと違って短い期間である程度形になるので、自分が「あっと」という間にうまくなったという勘違いからはまってしまったのかもしれない。

スノーボードといっても、私が認識しているだけでもフリーラン、アルペン、ボーダークロス、ハーフパイプ、ワンメイク（ストレートジャンプ）などいろいろな滑り方がありますが、フリーランをしています。ポリテクセンター静岡に在勤中は、若い職員に誘ってもらいましたが、それだけではついてい

けず、ナイターにこっそり通って基礎練習をしてきました。しかし、長時間（2時間くらい続けて）滑ると足腰にくるので若い人たちを最初はうらやましく思いました。平成11年4月にポリテク福井の勤務を命ぜられ、赴任し現在に至っているのですが、1時間30分以内に行けるゲレンデが結構ありますので、JSBAの級を取得するまでになりました。我流で始めましたので級を取得する際にはかなり滑りに対して参考になりましたね。おかげでむだな力を入れずに滑れるようになりましたので、ポリテクセンター福井の若い職員にもついていけるようになりました。

来シーズンの課題は、無謀かなとも感じています。何とかストレートジャンプをクールに決めてみたいものです。

今年、38歳になりますが、こんな年寄りでも楽しんでおりますので、何もしていない方たちにはぜひ何か1つでもストレス解消になるような趣味を始めてみてはいかがでしょうか。

次にリレートークをお願いするのは、ポリテクカレッジ茨城で講師をされている村岡敦講師にお願いしたいと思います。

村岡敦さんは、チーム一村岡（チームイチムラオカ）のチームリーダーであり（スノーボードチーム現在は解散？）、スノーボードの鬼です。それから、ポリテクセンター静岡に在勤中は、いろいろと馬鹿騒ぎをしたメンバーの一員です。

それでは、村岡敦さんよろしく願いします。

ポリテクって？

「やあ！平野さん？」正月明けのまだアイドリング状態の頭に、響き渡る特徴のあるハスキーな大阪弁が電話口から聞こえてきました。「！松原さん」、私が機構に入ってすぐでした。開設したばかりの高度ポリテクに赴任し、お世話になりました。まよわずに原稿を書くことを引き受けてしまいました。

...といっても、話題が少ないものですから、能力開発法の改正や行政法人の見直しなどで、あらためてポリテクのことを考えていて、出合った本のことを書きます。ポリテク施設の名前の由来と関係ないかもしれませんが、頭の片隅にでもご記憶ください。フランス革命の内外共に不安定な時期のフランスで、教育の平等と能力主義で国力をあげるためにエコール・ポリテクニクという技術者養成学校が設立されました。それまでは科学アカデミーや大学の自由な研究に対して、国やパトロンが小規模に支援していました。この時期のヨーロッパ情勢は、英のピット首相率いる対仏大同盟に対抗するために、軍事技術者を育成する必要があり、各種の技術者養成学校の工兵学校、砲兵学校、土木・鉱山・造船の学校を中央に集めて設立され、のちに公共事業中央学校からエコール・ポリテクニクへと名前が変わりました。自然科学者たちの革命達成の情熱と中央政府への突き上げは、世界初の教育の平等の理念へと、また、設立の動機から国の要請、主に軍事上の要請に応える国策技術者を育てました。学生の選抜に当たっては、時代の常識だった富裕階級の子弟ではなく、徹底した能力第一主義であり、学生手当の支給もありました。

授業は、数理物理学、数学（解析学と画法幾何学

石工規矩法・土木・築城）、化学で、3年間で、547回の授業を行い、1回の授業の内訳は、90分が教授、90分が練習教師だったそうです。士官候補生試験官としてナポレオンの試験を行ったこともある解析のラプラス、ラグランジュ、フーリエ級数のフーリエ、関数論のコーシーなど著名人がこの時期に教員として指導しています。

ナポレオンが台頭すると兵学校扱いになりましたが、卒業生は軍人だけでなく行政、外交、司法、経済のあらゆる部門に進出しています。また、ナポレオンのエジプト遠征に随行したモンジュ、フーリエなどによってロゼッタストーンに代表される「エジプト学」の基礎が固められたそうです。

フランス革命、ナポレオン、ブルボン王朝、そしてナポレオンの百日天下、フィリップ、ナポレオン3世など激動の18～19世紀にフランスの国勢を支えた人材を育てたすばらしい学校でした。

21世紀の今日、産業構造の変革により企業も労働者も自分の将来が見えません。今後ポリテクがどうなるかは国政が決めることですが、「国は人なり」、日本の産業界に少しでも貢献できる人材を育て、日本の歴史とまではいかなくても人の記憶に残る施設になってほしいと願い、末端（北の端？）で自分の力不足を反省、努力するこのごろです。

今回のトークは、高度ポリテクセンターと一緒に勤務し、現在、本部能開指導部で活躍中の上田氏に頼みました。

「よろしくお願いします」。

おしえて
夕毛ちゃん

作・クニ&ヒロ(五九)



おしえて
夕毛ちゃん

作：クニ&ヒロ (30)



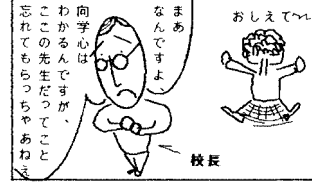
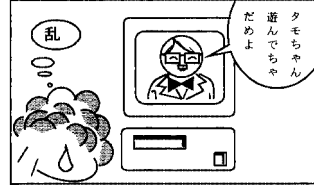
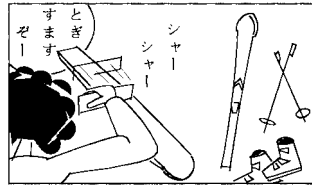
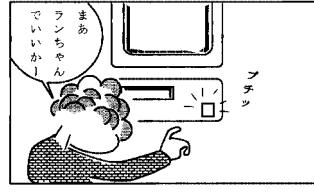
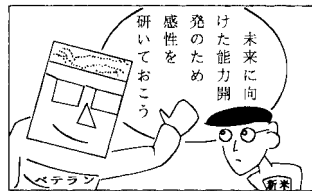
おしえて
夕毛ちゃん

作：クニ&ヒロ (20)



おしえて
夕毛ちゃん

作：クニ&ヒロ (1)



最終回に当たって
全国の「技能と技術」ファンの皆さま、「おしえて夕毛ちゃん」(クニ&ヒロ・作)は今号59回の掲載をもちまして終了させていただきます。
終了に当たり、懐かしい第1回・第20回・第30回を振り返ってみました。
長期間に及ぶご愛読ありがとうございました。
次号より、新しい著者で新連載がスタートいたしますので、ご愛読よろしくお願いたします。